

宇部市新庁舎建設基本設計 (素案)

1	計画方針	・ ・ ・ ・ ・ 01
2	敷地概要・建物概要	・ ・ ・ ・ ・ 02
3	配置計画	・ ・ ・ ・ ・ 03
4	平面計画	・ ・ ・ ・ ・ 04
5	防災計画	・ ・ ・ ・ ・ 05
6	環境計画	・ ・ ・ ・ ・ 06
7	構造計画	・ ・ ・ ・ ・ 07
8	広場計画	・ ・ ・ ・ ・ 08
9	ユニバーサルデザイン計画	・ ・ ・ ・ ・ 09
10	セキュリティ計画	・ ・ ・ ・ ・ 10
11	建替計画	・ ・ ・ ・ ・ 11
12	概算事業費	・ ・ ・ ・ ・ 11

1. 計画方針

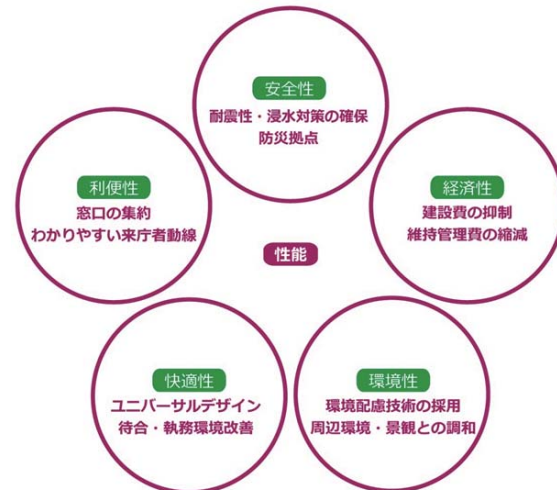
■新庁舎の方針

新庁舎の基本設計は、基本構想（平成27年3月）で掲げた基本理念と7つのコンセプト、基本計画（平成28年8月）で掲げた「新庁舎の役割」「備えるべき5つの性能」「導入すべき6つの機能」を継承し、新庁舎を具体化するものとして計画します。

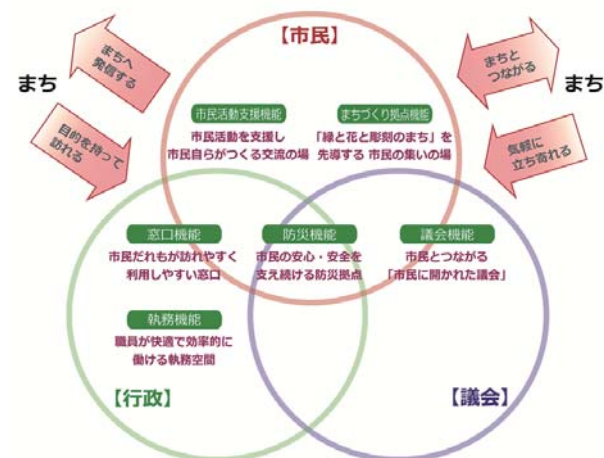
■基本理念と7つのコンセプト



■備えるべき「性能」



■導入すべき「機能」



■新庁舎の役割

“新・緑と花と彫刻のまち”宇部の美しさを感じ、まちづくりを先導する場

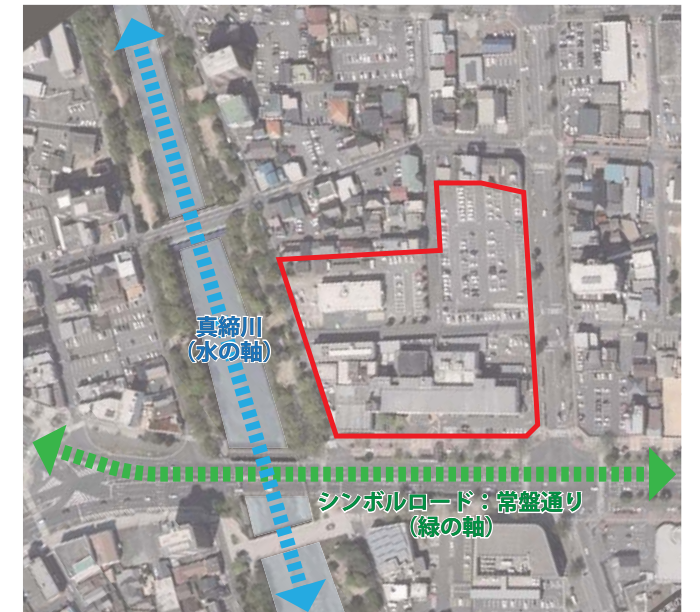
- 中心市街地の「中心」において、その立地特性を十分に活かし「宇部らしさ」を創出する。
- 真締川公園の豊かな自然を取り込み、市民の憩いの場となる公園のような場とする。
- 常盤通りに面した顔づくりによって、良好な景観を形成する先導的な役割を担う。

市民交流・協働を支え、宇部市民みんなに愛され、つくりあげられる場

- 明るく親しみやすい空間とし、市民が集う場とすることで、まちのにぎわいを創出する。
- 市民活動を育成する交流・協働の場、地域情報の発信を行う場を充実させる。
- 建設プロセスに市民が主体的に関わることで、永く愛され使い続けられる空間とする。

無駄がなく、時代の変化に対応しながら快適で安全に使い続けられる場

- 耐震性をはじめとした建物の十分な安全性を確保し、市民を守る防災拠点となる。
- ライフサイクルコスト（建設から維持・管理、解体までの建物の生涯にかかる費用）に配慮し、時代の変化に対応しながら使い続けられる無駄のない建物とする。
- 訪れる誰しもが快適で使いやすく、職員が効率的に働ける環境を整える。



新庁舎の敷地は中心市街地としての骨格をなす「緑の軸」としてのシンボルロード（常盤通り）と「水の軸」としての真締川が交差するまちの中心に位置しています



新庁舎外観イメージ

2. 敷地概要・建築概要

■敷地概要

所在地	宇部市常盤町一丁目7番1号他		
敷地面積	15,513.18㎡		
地域地区	商業地域		
	準防火地域		
	駐車場整備地区		
	景観計画区域（シンボルロード沿道地区、真綿川周辺地区）		
	河川保全区域		
指定容積率	400%		
指定建ぺい率	80%（角地緩和90%）		
前面道路	南側	幅員：50m	国道190号
	東側	幅員：25m	市道栄町線
	北側	幅員：8.1m	市道常盤町寿町2号線
	西側	幅員：6.3m	市道真綿川東通線

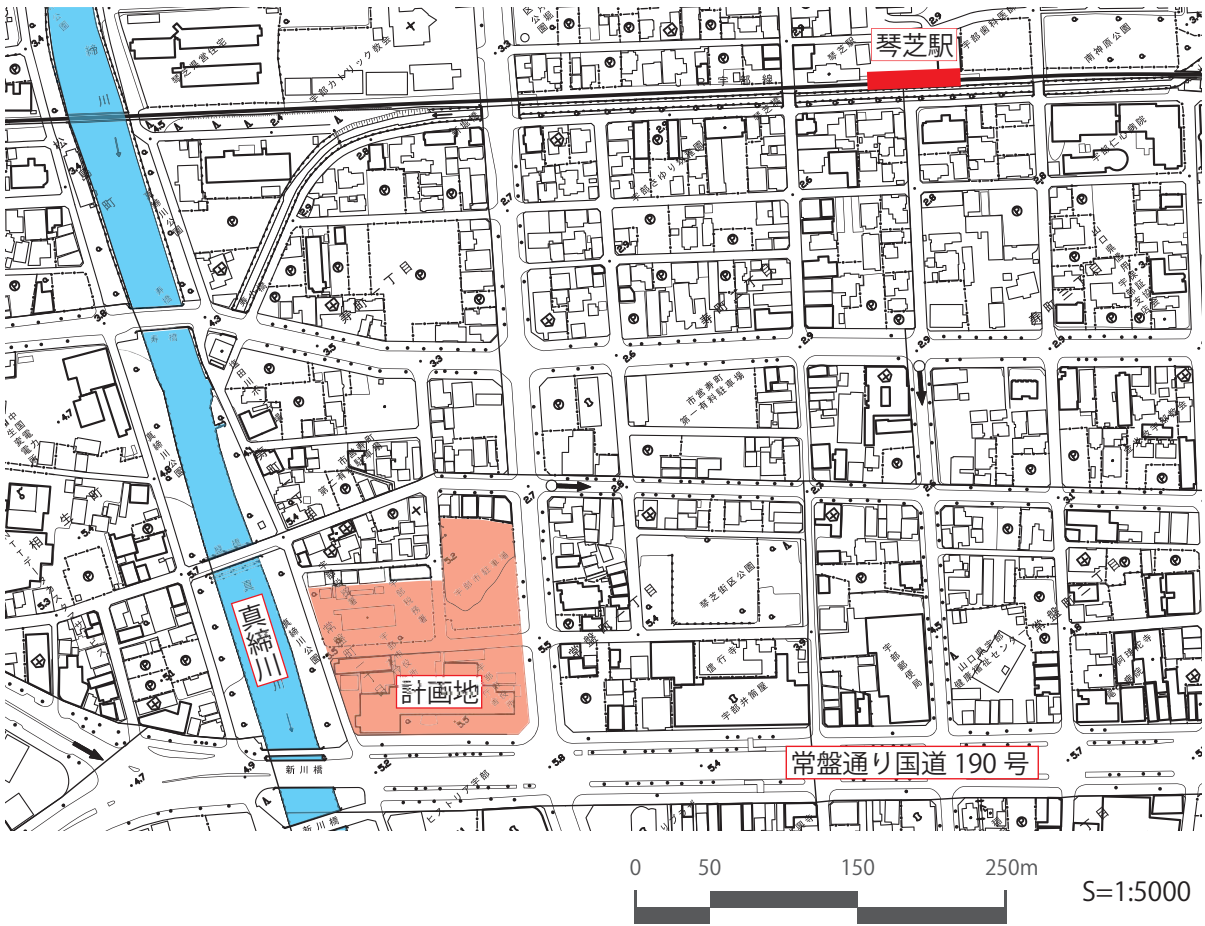
■建物概要

庁舎延べ床面積	18,124.15㎡（デッキ、ピロティ、軒下を含まず）		
庁舎建築面積	5,362.23㎡		
立体駐車場延べ床面積	4,158.15㎡		
立体駐車場建築面積	2,976.17㎡		
庁舎階数	1期庁舎	地上6階（6階：機械室）	
	2期庁舎	地上3階（3階：食堂）	
構造	1期庁舎	鉄筋コンクリート造	2期庁舎 鉄骨造
建物高さ	1期庁舎	27.6m	2期庁舎 13.6m 立体駐車場 13.0m
駐車台数	立体駐車場	216台（内来庁者用 164台）	
	平面駐車場	70台（来庁者用）	
	障害者等用駐車場	5台	

■面積表

階	1期庁舎	2期庁舎	合計
6階	669.03 ㎡		669.03 ㎡
5階	3,036.00 ㎡		3,036.00 ㎡
4階	3,036.00 ㎡		3,036.00 ㎡
3階	3,036.00 ㎡	368.65 ㎡	3,404.65 ㎡
2階	3,065.44 ㎡	748.25 ㎡	3,813.69 ㎡
1階	2,965.85 ㎡	1,198.93 ㎡	4,164.78 ㎡
計	15,808.32 ㎡	2,315.83 ㎡	18,124.15 ㎡

■新庁舎の位置図



■新庁舎の配置図

